

人事院会議議事録

会議日

令和4年9月1日 木曜日

会議の出席者

川本総裁 古屋人事官 伊藤人事官
(幹事) 松尾事務総長、池本総括審議官
(説明員) (給与局)
佐々木局長、岩崎次長、三浦給与第二課長、
住吉給与第三課長、琴企画調整官

議題

- 1 令和5年度級別定数改定等の考え方
- 2 令和5年度俸給の特別調整額等の改定の考え方

議事の概要

- 議題1「令和5年度級別定数改定等の考え方」について、担当局から既設官職に係る級別定数等の改定等に当たっての基本的考え方について説明を行うとともに、今後の進め方について以下のとおり説明があった。
 - ・ 既設官職の指定職及び上位級に係る定数等の改定について、10月の院議に改定内容を付議後、財政当局等との調整を進めるなど、級別定数改定等に係る意見の申出に向けて改定等作業を進めていくこととしたい。
- これに対し、以下のような意見があった。
 - ・ 級別定数にはフレキシビリティがなく、人事や登用の足かせになっているという指摘もあるが、現行の仕組みの下でもかなり柔軟な運用が可能となっている。各府省において公平な評価制度の下でメリハリのある人事管理を進めることができるよう、現行の仕組みや運用についての周知・徹底を図っていくことが大切である。
 - ・ 重要課題などはその時々で変化するものであり、級別定数改定等の考え方については、こうした社会の変化も踏まえて、改定等作業が始まる前にその都度確認した上で、定めていくことが必要である。また、各府省などとのインターフェースを良くしていくとともに、何に対して柔軟性が求められているのかを意識して、工夫しながら進めていくことも大切である。

- 議題2「令和5年度俸給の特別調整額等の改定の考え方」について、担当局から以下のとおり説明があった。
 - ・ 既設官職に係る改定等については、各府省からの要求官職等のうち、改定の必要性が認められる官職等について行うこととし、10月上旬の院議に改定内容を付議後、財政当局との調整を進めることとしたい。
 - ・ 新設官職に係る適用については、機構・定員審査状況等を踏まえて12月に別途対応することとしたい。

- 議題1及び議題2については、三人事官一致で了承された。